

# Market Report

2023年8月号



# インドネシアのパーム油生産量及び価格見通し

## 1. 実績

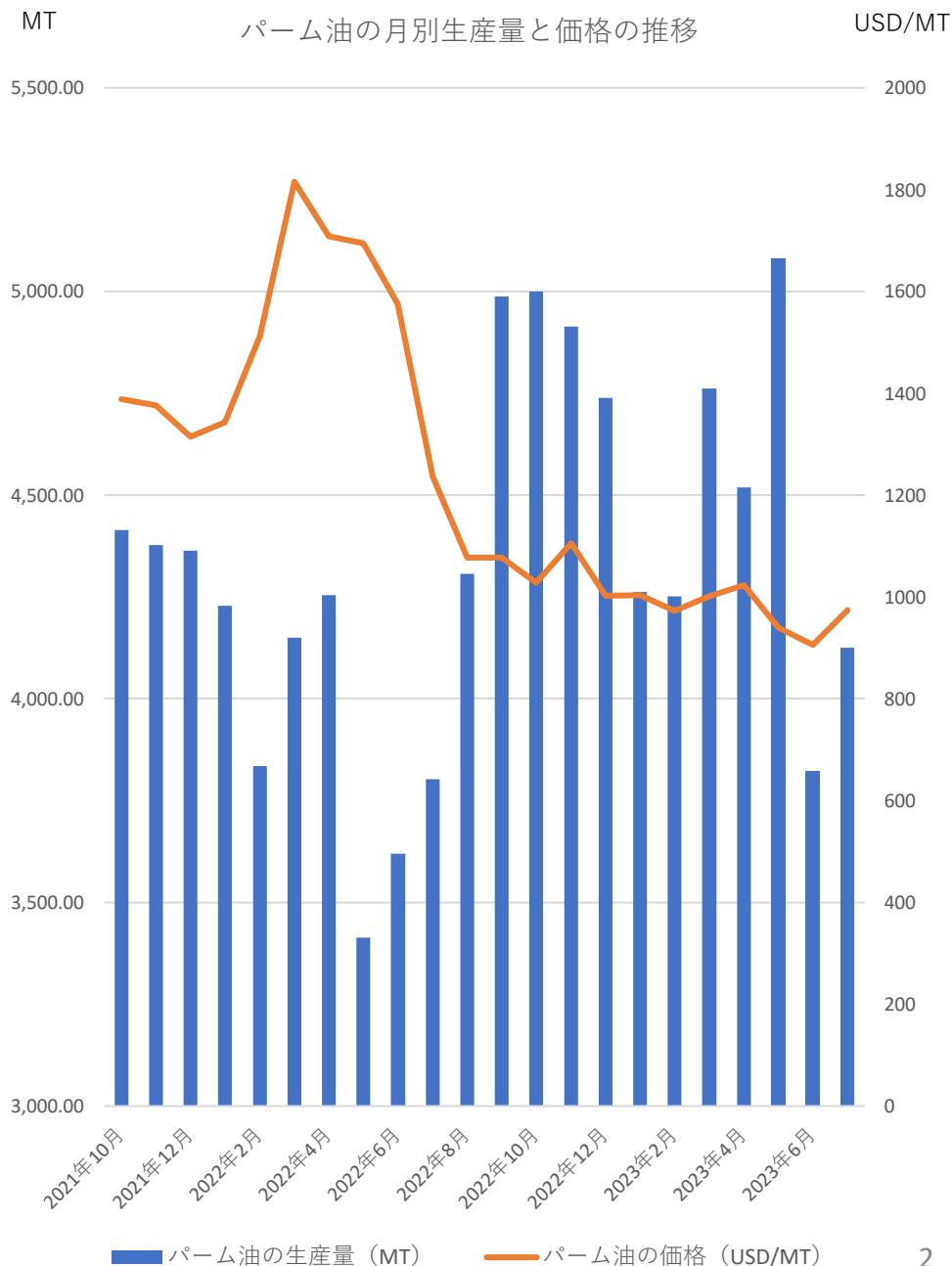
イスラム教の祝日、すなわちイード・アルアドハーやハッジが終わると、FFBの価格は下がる傾向にある。

5月のFFB価格と比較して6月の平均FFB価格が減少しており、最も減少したのは中央カリマンタン州で、平均FFB価格の変化は10.69%、235.55ルピア/kgの減少であった。

## 2. 見通し

ロッテルダム商品取引所におけるCPO価格は、8月8日現在1トン当たり935米ドルであり、トン当たり950米ドルを記録した2023年7月の終値、およびトン当たり960米ドルを記録した8月上旬（08月01日～23日）の始値と比較して1.57%下落した。

CPOまたはパーム油の価格は、世界の植物油市場でシェアを争うため、関連する油価の動向に影響される。2023年8月のCPO価格は1トン当たり900～1,000米ドル程度とγ予想される。



# インドネシアからのPKSの輸出量及び輸出額見通し

## 1. 実績

2023年6月のインドネシアでのPKS輸出量は435,283MTを記録し、外貨価値は52,390,909USDとなった。5月の輸出量である390,164MTと比較し、**11.5%**

(45,118MT)の増加となった。

2023年6月の最大の輸出先は日本で輸出量は389,209MT、市場シェアは**89.42%**であった。

## 2. 見通し

パームヤシの収穫量も順調に伸びており、CPOミルの稼働も前月に比較し増加するものと予想される。

